

「事務事業調書の見方(項目・内容説明)」

令和7年度の事務事業評価シートでは、令和7年度の実績及び令和8年度計画について記載しています。

Plan【事業概要】

事業概要(事業の位置付け・目的)

総合計画 体系	この事務事業が総合計画のどの分野に位置付けられているか表しています。
対象・目的	この事務事業は、誰(受益者等)を対象にして、どのような状態にするのかを表しています。
手段	目的の達成に向けて、行う手段(実施内容)を表しています。

事務事業評価シート (1/2)		1頁 令和 8年 7月28日 10時28分11秒	
評価年度	令和 7年度	評価区分	1 次評価
所属	0001053510 経営管理課行基・経営係		
事務事業	02263 行政評価事業	業務番号	0566-71-2263
計画年度	03 第9次安城市総合計画		
重点戦略	004 行政評価		
分野別	001 1.7行政評価		
施策の取組	002 効果的な行政評価		
事務事業	015 行政評価事業		
事業期間	平成16年度～		
実施方法	調査	事業区分	政策的
実施区分	一般施策	マニフェスト	
実施場所	安城市自治基本条例第2条	位置別項目	
実施主体			
備考			
【事業分析】			
対象	市が実施する事務事業(行政サービス)を		
目的	評価することにより、総合計画の策定や推進、事業に対する説明責任の確保、職員の意識改革及び事務事業の改善を図ることに努めます。		
手段	市が実施する行政サービスの成果や活動をわかりやすい指標を用いて評価を実施を行い、コスト等の現状を把握し、分析することにより改善に結びつけます。事務事業の外部評価として、平成26年度から平成31年度(令和元年度)まで公開行政レビューを、令和2年度から附属機関である行政改革審議会において実施しています。		
事務内容	事務事業評価の実施 外部評価の実施		
トータルコスト		令和 6年度	令和 7年度
		決算額	決算額
事業費		9,659	11,256
国庫支出金		279	256
県支出金		0	0
地方債		0	0
その他		0	0
一般財源		279	256
人件費計		9,380	10,950
正職員(人)		1.40	1.50
その他職員		0	0
【事務事業活動実績】		令和 6年度	令和 7年度
		①内訳評価：事務事業 ②外部評価：事務事業 ③外部評価：行政改革 審議会にて実施	①内訳評価：事務事業 ②外部評価：事務事業 ③外部評価：行政改革 審議会にて実施

事務事業評価シート (2/2)		2頁 令和 8年 7月28日 10時28分11秒	
評価年度	令和 7年度	評価区分	1 次評価
所属	0001053510 経営管理課行基・経営係		
事務事業	02263 行政評価事業	業務番号	0566-71-2263
計画年度	03 第9次安城市総合計画		
重点戦略	004 行政評価		
分野別	001 1.7行政評価		
施策の取組	002 効果的な行政評価		
事務事業	015 行政評価事業		
事業期間	平成16年度～		
実施方法	調査	事業区分	政策的
実施区分	一般施策	マニフェスト	
実施場所	安城市自治基本条例第2条	位置別項目	
実施主体			
備考			
【定性評価】			
必要性	必要性の観点 国・県・民間等との連携	1 国・県・民間等がサービスを提供していない 2 国・県・民間等がサービスを提供しているが、改善の必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	ランク 1
効果性	効果性の観点 市民ニーズの把握	1 市民ニーズは十分に把握されている 2 市民ニーズは把握されているが、改善の必要がある 3 市民ニーズは把握されていない	1
有効性	有効性の観点 市民ニーズに対する効果	1 効果は十分に発揮されている 2 効果は十分に発揮されているが、改善の必要がある 3 効果は十分に発揮されていない	2
効率性	効率性の観点 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手続の簡便化や業務改善に取り組んでいる 2 事業手続の簡便化や業務改善に取り組んでいるが、改善の必要がある 3 事業手続の簡便化や業務改善に取り組んでいない	2
公平性	公平性の観点 事業の公平性・サービス水準	1 事業手続の簡便化や業務改善と比較して満足している 2 事業手続の簡便化や業務改善と比較して満足しているが、改善の必要がある 3 事業手続の簡便化や業務改善と比較して満足していない	1
【方向性評価】			
事業の方向性	評価・評価 事業の方向性・事業費の削減	1 事業手続の簡便化や業務改善に取り組んでいる 2 事業手続の簡便化や業務改善に取り組んでいるが、改善の必要がある 3 事業手続の簡便化や業務改善に取り組んでいない	
1次コメント (400文字以内)			
【方向性評価】			
事業の方向性	評価・評価 事業の方向性・事業費の削減	1 事業手続の簡便化や業務改善に取り組んでいる 2 事業手続の簡便化や業務改善に取り組んでいるが、改善の必要がある 3 事業手続の簡便化や業務改善に取り組んでいない	
2次コメント (400文字以内)			

Do【事業実績(成果)】

成果指標と実績の推移(数値による実績測定)

定量評価	この事務事業の年度ごとの「成果」を表しています。事務事業を実施することにより、目的(求める成果)にどれだけ近づいたか、目的の実現度合いを測るものです。
------	---

Check【事業評価】

事業の必要性等の検証・評価(事務事業の評価)

必要性 有効性 効率性 公平性	事務事業の必要性、有効性、効率性、公平性の観点から事業を実施する必要があるか、改善する必要があるか、検証しています。 ※全て30文字以内 【必要性】 行政の関与や市民ニーズ等の変化により、市が事業を実施する必要があるかどうかを検証しています。 【有効性】 事業実施により意図した成果(定量評価から検証)が得られているかどうかを検証しています。 【効率性】 事業手法の検討や事務の改善により事業の効率化・事業費の削減が可能かどうかを検証しています。 【公平性】 社会情勢やニーズ等の環境変化や他の自治体との比較により事業規模やサービス水準(受益者の範囲・サービス内容)の見直しが可能かどうかを検証しています。
--------------------------	--

Do【事業費、事業実績(活動)】

事業費、人員推移及び各活動の取組実績(数値による実績測定)

事業費(千円)	事務事業の実施に要した年度ごとの金額を表しています。(職員人件費を除く)
国庫支出金 県支出金 地方債(千円)	補助金等の「国庫・県支出金、地方債」の額とその合計を表しています。
その他(千円)	使用料、手数料等の受益者が負担する受益者負担金、基金繰入金、寄附金(特別会計)等の額を表しています。
一般財源(千円)	事務事業の実施にあたり、安城市が負担する市税等の一般財源の額を表しています。
人件費(千円)	事務事業にかかる職員人件費の総額を表しています。 (平均人件費(R6:6,700千円、R7:7,300千円、R8:7,300千円)×従事職員数)
活動実績	この事務事業の中の主な活動(取組)と年度ごとの実績及び計画を記載しています。※100文字以内

CHECK & ACTION(評価と改善)

方向性(具体的な改善案)

事業の方向性	コスト・活動実績・成果(定量評価)・定性評価の内容を踏まえた現在の問題点や、見直すべき項目に対して有効と想定される改善策として、取り組む内容を表しています。また、事業評価(事務事業の必要性・効率性・有効性・公平性)を踏まえ、今後の方向性を総合的に評価しています。 ※400文字以内 「拡充」:事業規模(事業量、予算、人員)を拡大し、事業内容を大幅に充実させるもの。 「維持・継続」:事業規模又は事業内容を現行どおり維持・継続するもの。 「縮小・統合」:事業規模又は事業内容を減らすもの。もしくは、他の事業と整理統合するもの。 「休止・廃止・終了」:事業を一時的に止めるが、将来的には再開する可能性があるもの。または、事業を打ち切るもの。もしくは、完了期間の到来により事業を終了するもの。
--------	---